

# 中学校第一学年社会科指導案

指導教諭

授業者

1. 学校名
2. 指導日時・教室 2023年 6月1日(木曜日) 5限目(13:35～14:25)
3. 対象生徒・集団 第1学年6組教室
4. 科目名 地理
5. 使用教科書 中学生の地理 帝国書院
6. 単元名  
第2部世界のさまざまな地域  
第1章人々の生活と環境  
5 寒い地域の暮らし～シベリアでの生活～

## 7. 単元目標

- ・人々の生活が、その生活が営まれる場所の自然および社会的条件から影響を受けたり、その場所の自然および社会的条件に影響を与えたりすることを理解させる。
- ・世界各地における人々の生活の様子とその変容について、自然および社会的条件と関連づけて考察させ、世界の人々の生活環境の多様性を理解させる。

## 8. 単元の評価基準

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
①人々の生活は、その生活が営まれる場所の気候に影響を受けていることを理解することができる。 ②雨温図から気温と降水量の二つの視点で、気候の特色を読み取ることができる。	①衣・食・住の視点から、それぞれの気候の特色についてタブレットを用いて資料等から多面的・多角的に読み取り、まとめることができる。 ②世界各地の人々の生活の特色や変容を、自然および、社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。	①教科書やタブレットを用いて情報を収集し、ペアワーク等で情報を共有することができる。

## 9. 指導に当たって

### ○教材観

本単元は第2部世界のさまざまな地域の中の「人々の生活と環境」である。主な指導内容は各気候帯での人々の生活が中心で、熱帯や乾燥帯、温帯や寒帯を衣食住の視点でまとめられており、生徒にとっても学習目標を捉えやすく、見通しをもった学習を進めることができる。写真や雨温図も充実しており、視覚情報による確認もできるため、積極的に資料等を活用していく。

### ○生徒観

熱帯や乾燥帯、温帯での暮らしを衣食住の視点で行った学習により、寒い地域での暮らしについて、予想を立てて学習することができる生徒が多いと考えられる。積極的に発言を行う姿勢をみても、突発的な意見よりも考えた意見を述べている生徒が多いため、地域の特色を捉えている生徒が多い。雨温図の読み取りは、気温と降水量の両視点から読み解くことを理解できている生徒が多い。

### ○指導観

それぞれの気候帯での暮らしについて、衣食住の視点から地域の特色やその違いについて理解するとともに、雨温図からその気候帯の特色を読み取ることができるように指導する。雨温図の読み取りを苦手とする生徒もいるため、小さな発見や気づきも拾っていくよう努める。

## 10. 単元の指導計画(全8時間 本時は5/8時間)

第2部世界のさまざまな地域

第1章人々の生活と環境

次	時	学習内容	評価基準
1	1	1 世界のさまざまな生活と環境 ○世界の人々が暮らすそれぞれの地域が、どのような気候の違いをしているか説明することができる。 ○雨温図を気温と降水量の両視点で読み取ることができる。	雨温図からの気温や降水量を読み取ることができる。(知識・技能②) 市場の写真から得られた情報をもとに、その地域の特色を多面的・多角的に考察している。 (思考力・判断力・表現力②)
2	1	2 暑い地域の暮らし～インドネシアでの生活～ ○暑い地域での生活を衣食住の視点で読み	雨温図から熱帯の気候の特色を読み取ることができる。(知識・技能②) 衣食住の視点から熱帯の気候に住む

		<p>取ることができる。</p> <p>○雨温図を気温と降水量の両視点で読み取ることができる。</p>	<p>人々の生活の特色をまとめることができる。(思考力・判断力・表現力①)</p> <p>教科書やタブレットを用いて情報を収集し、ペアワーク等で情報を共有することができる。(主体的に取り組む態度①)</p>
3	1	<p>3 乾燥した地域の暮らし～アラビア半島の生活～</p> <p>○乾燥した地域の生活を衣食住の視点で読み取ることができる。</p> <p>○雨温図を気温と降水量の両視点で読み取ることができる。</p>	<p>雨温図から乾燥した気候の特色を読み取ることができる。(知識・技能②)</p> <p>衣食住の視点から乾燥した気候に住む人々の生活の特色をまとめることができる。(思考力・判断力・表現力①)</p> <p>教科書やタブレットを用いて情報を収集し、ペアワーク等で情報を共有することができる。(主体的に取り組む態度①)</p>
4	1	<p>4 温暖な地域の暮らし～スペインでの生活～</p> <p>○温暖な地域の生活を衣食住の視点で読み取ることができる。</p> <p>○雨温図を気温と降水量の両視点で読み取ることができる。</p>	<p>雨温図から温暖な気候の特色を読み取ることができる。(知識・技能②)</p> <p>衣食住の視点から熱帯の気候に住む人々の生活の特色をまとめることができる。(思考力・判断力・表現力①)</p> <p>教科書やタブレットを用いて情報を収集し、ペアワーク等で情報を共有することができる。(主体的に学習に取り組む態度①)</p>
5 (本時)	1	<p>5 寒い地域の暮らし～シベリアでの生活～</p> <p>○寒い地域の生活を衣食住の視点で読み取ることができる。</p> <p>○雨温図を気温と降水量の両視点で読み取ることができる。</p>	<p>雨温図から寒い気候の特色を読み取ることができる。(知識・技能②)</p> <p>衣食住の視点から寒い気候に住む人々の生活の特色をまとめることができる。(思考力・判断力・表現力①)</p> <p>教科書やタブレットを用いて情報を収集し、ペアワーク等で情報を共有することができる。(主体的に学習に取り組む態度①)</p>
6	1	<p>6 高地の暮らし～アンデス山脈での生活～</p> <p>○アンデス山脈での生活を衣食住の視点で読み取ることができる。</p> <p>○雨温図を気温と降水量の両視点で読み取ることができる。</p>	<p>雨温図から高地での気候の特色を読み取ることができる。(知識・技能②)</p> <p>衣食住の視点から高地での気候に住む人々の生活の特色をまとめることができる。(思考力・判断力・表現力①)</p>

			教科書やタブレットを用いて情報を収集し、ペアワーク等で情報を共有することができる。(主体的に学習に取り組む態度①)
7	1	<p>7 世界各地の衣食住とその変化</p> <p>○世界各地の人々の衣食住は、自然環境とどのような関係があり、どのような変化がみられるのか説明できる。</p>	<p>世界各地の伝統的な生活様式の変化について多面的・多角的に考察している。(思考力・判断力・表現力②)</p> <p>教科書やタブレットを用いて情報を収集し、ペアワーク等で情報を共有することができる。(学習に取り組む態度①)</p>
8	1	<p>8 人々の生活と宗教の関わり</p> <p>○世界の宗教はどのように分布し、人々の生活にどのような影響を与えているのか説明できる。</p>	<p>世界各地の宗教とその地域の生活の特色との関連性を多面的・多角的に考察している。(思考力・判断力・表現力②)</p> <p>教科書やタブレットを用いて情報を収集し、ペアワーク等で情報を共有することができる。(主体的に学習に取り組む態度①)</p>

11.本時(全8時間のうち5時間目)の指導と評価の計画

① 本時の目標

シベリアでの生活を例に、衣食住の視点から寒い地域の暮らしの特色について理解することができる。

② 準備・資料等

教科書、パワーポイント

③ 本時の展開

	時間	学習内容と活動	指導上の留意点	評価基準(評価方法)
導入	1分	・挨拶・プリント配布		質問に対する発表の積極性(主体的に学習に取り組む態度)
	1分	・シベリアと聞いて想像すること		
	5分	○シベリア鉄道 ○バイカル湖		
	1分	本時の目標提示		
			生徒が学習の見立てを持てるようにする。	

		シベリアでの生活を例に、衣食住の視点から寒い地域の暮らしの特色について理解することができる。		
展開 1	5分	・ワーク1 ヤクーツクと東京の雨温図を見比べて、その違いについてまとめてみよう。 ○冬がとても寒い ○降水量が少ない	机間巡視を行い、手の止まっている生徒には助言する。	雨温図を気温と降水量の視点で読み取ることができる(知識・技能)
	4分	板書、説明 特に永久凍土について詳しく	本時のキーワードになるため、詳しく説明する。	
	6分	シベリアでの生活を衣食住の視点でまとめよう  寒い場所はどのような服装していると思うか問いかける2分 ○暖かい服装  野菜を長持ちさせる方法はなにか問いかける4分 ○酢漬け、塩漬け		
		発問1 なぜシベリアでは高床になっているのだろう。		
展開 2	8分	高床の写真を提示し、シベリアで高床になっている理由を考えさせる ペアで考える1分 発表1分 永久凍土があることを提示する。 再びペアで考える1分 発表1分 家から熱が出ていることを提示し 再びペアで考える1分	段階的にヒントを出していく ・地中は永久凍土になっていること ・熱が家から逃げている	熱や永久凍土があることから高床になっている理由をまとめることができる(思考力・判断力・表現力)

		発表1分 ○永久凍土を溶かし、建物が傾いてしまわないようにするため 解説、板書2分	くこと	
	4分	熱帯の地域でも高床になっていることを確認したが、その時の高床の理由はなんだったろうか。 ○風通しを良くして熱や湿気がこもらないようにするため	同じ高床でもその理由は異なっていることを意識させる	3回前の講義での内容の復習(知識・技能)
		発問2 なぜシベリアでは水道管が地上にあるのだろう。		
展開 3	10分	・ワーク2 なぜ水道管が地上に設置されているのだろう ペアで考える1分 発表1分 永久凍土があることと、 水道管に温かい水が流れていることを提示し、再びペアで考える1分 発表1分 ○水道管を凍らせないために温かい水が流れており、地中に埋めると永久凍土を溶かしてしまう可能性があるため。 解説と板書4分	段階的にヒントをだしていく。 ・ヤクーツクの地中はどうなっているのか ・水道管にはどんな水が流れているのか	住居が高床になっていることを用いて、水道が地上にある理由を考えることができる。(思考力・判断力・表現力)
終末	3分	シベリアのような寒い地域に住んでみたいか問いかける。		
	2分	教科書の内容 外国文化の流入と生活の変化	永久凍土がシベリアの生活に影響していることを改めて確認させる。	
	計 50分	本時のまとめ		本時の学習事項をまとめることができる。(知識・技能)

板書計画

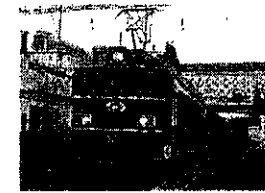
プロジェクター	① 亜寒帯気候 ② 永久凍土	住 水道管が地上にある理由
		生徒の意見を書く

講評

第2部世界のさまざまな地域

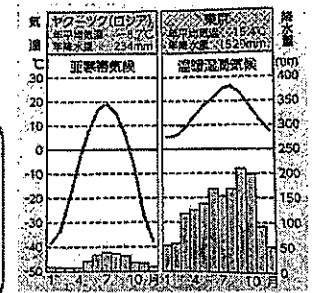
第1章人々の生活と環境

4 寒い地域の暮らし～シベリアでの生活～ p36-37



ワーク1 教科書 P36 ヤクーツクと東京の雨温図を見比べて、気温

や降水量など異なる点をまとめよう。



このような雨温図の地域を① ( ) という

寒さが厳しい地域での暮らし

② ( ) …一年を通して凍ったままになっている土壌のこと

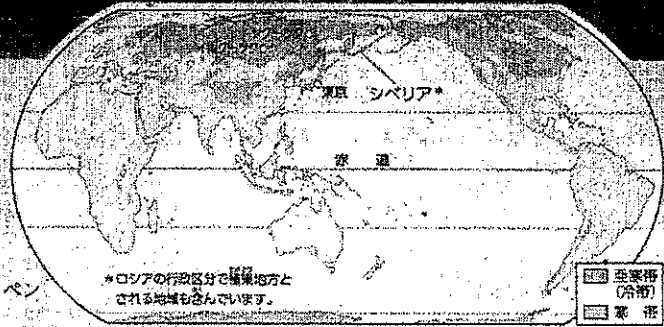
シベリアについて衣食住の視点からまとめてみよう

衣	厳しい寒さから身を守るため、( )毛皮のコートや、帽子を身に付ける
食	( )の間に栽培した野菜の( )や、川や湖の魚
住	

ワーク2 なぜ水道管は地上に設置されているのだろうか？



1 雪に覆われた冬の市街地(ロシア、ヤクーツク、2月撮影)。水道管には、水が凍らないように温めた水が流されています。2 水道管が地上に設置されている理由を考えてみよう。



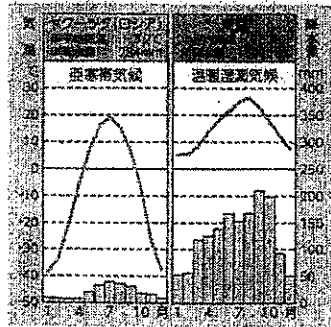
3 寒帯の分布 (W.P.ケッペン原図(1923年発表), ほか)

\*ロシアの行政区分で標準地方とされる地域も含まれています。



水道管は地面の下にあるものじゃないの？

## 5 寒い地域の暮らし 〜シベリアでの生活〜



4 ヤクーツクと東京の雨温図(理科年表 2020, ほか)

5 冬の寒さが厳しいシベリアでは、人々はどのような生活をしているのだろうか。

6 **シベリアの位置と自然** 世界には、冬に外で洗濯物を干すと凍ってしまうほど寒い**亜寒帯(冷帯)**や**寒帯**の地域があります。その多くは北半球の高緯度の地域にみられます。ユーラシア大陸の北に広がるシベリアでは、冬には気温が $-30^{\circ}\text{C}$ 以下になることも珍しくありません。

7 **寒さが厳しい地域での暮らし** シベリアには、**永久凍土**という凍った土が広がっていて、この地域の建物の多くは高床になっています。これは、建物から出る熱が永久凍土をとかし、建物が傾いてしまうのを防ぐための工夫です。窓は二重、三重に作られ、壁も30cmほどの厚みがあります。町の暖房センターから送られてくる温水を使った暖房によって、部屋の中は薄着で過ごすほど暖かく保たれています。また、人々は厳しい寒さから身を守るため



8 高床になっている集合住宅(ロシア、ヤクーツク、2月撮影)。建物の柱は、永久凍土の部分まで打ち込まれています。



9 真冬の屋外で分厚い防寒着を着た人々(ロシア、ヤクーツク、2016年の月撮影)。地面や建物が雪で覆われています。



10 温水を使った暖房によって暖かく保たれた家の中(ロシア、ヤクーツク近郊、2月撮影)。食卓には、パンや酢漬けの野菜、乳製品などが並んでいます。



11 夏の間の野菜作り(ロシア、イルクーツク、8月撮影)。ロシアでは、郊外にオーチャとよばれる菜園付きの別荘をもつ家庭が多く、夏の間に野菜や果物などを栽培して家族で食べたり、冬の保存食に加工したりします。

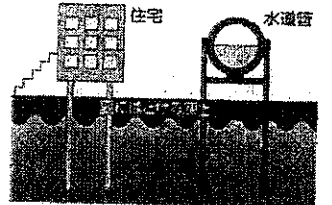
に、外出のときには保温性の高い毛皮のコートや帽子などを身につけます。

12 このように寒さが厳しい地域では、栽培できる作物は限られています。そのため、冬の食卓には、夏の間栽培した野菜を酢漬けにした保存食のほか、市場で買うことができる川や湖の魚、牛や豚の肉、乳製品などが並びます。

13 **外国文化の流入と生活の変化** シベリアでは航空機や鉄道を使って多くの外国製品が入ってくるようになり、町のスーパーマーケットでは、冬でも新鮮な野菜や果物などを買うことができるようになりました。アメリカ風のファストフード店や日本料理店など、さまざまな外国の食文化も入ってきています。こうした外国製品や外国文化は、今ではシベリアに暮らす人々の生活に溶け込んでいます。また、日本や韓国からも家電製品や生活用品などが輸入され、生活が便利になってきています。

### 永久凍土

14 1年を通して凍ったままになっている土壌です。地下数十mから数百mの厚さがあり、シベリアの広い範囲に分布しています。短い夏の間だけ、表面の凍土はとけます。



15 永久凍土の断面

16 写真の1回から、シベリアの人々の住居や衣服、食事の特色を読み取り、書き出そう。

17 ヤクーツクの雨温図や、シベリアの人々の衣食住の様子から、寒い地域の暮らしを説明しよう。